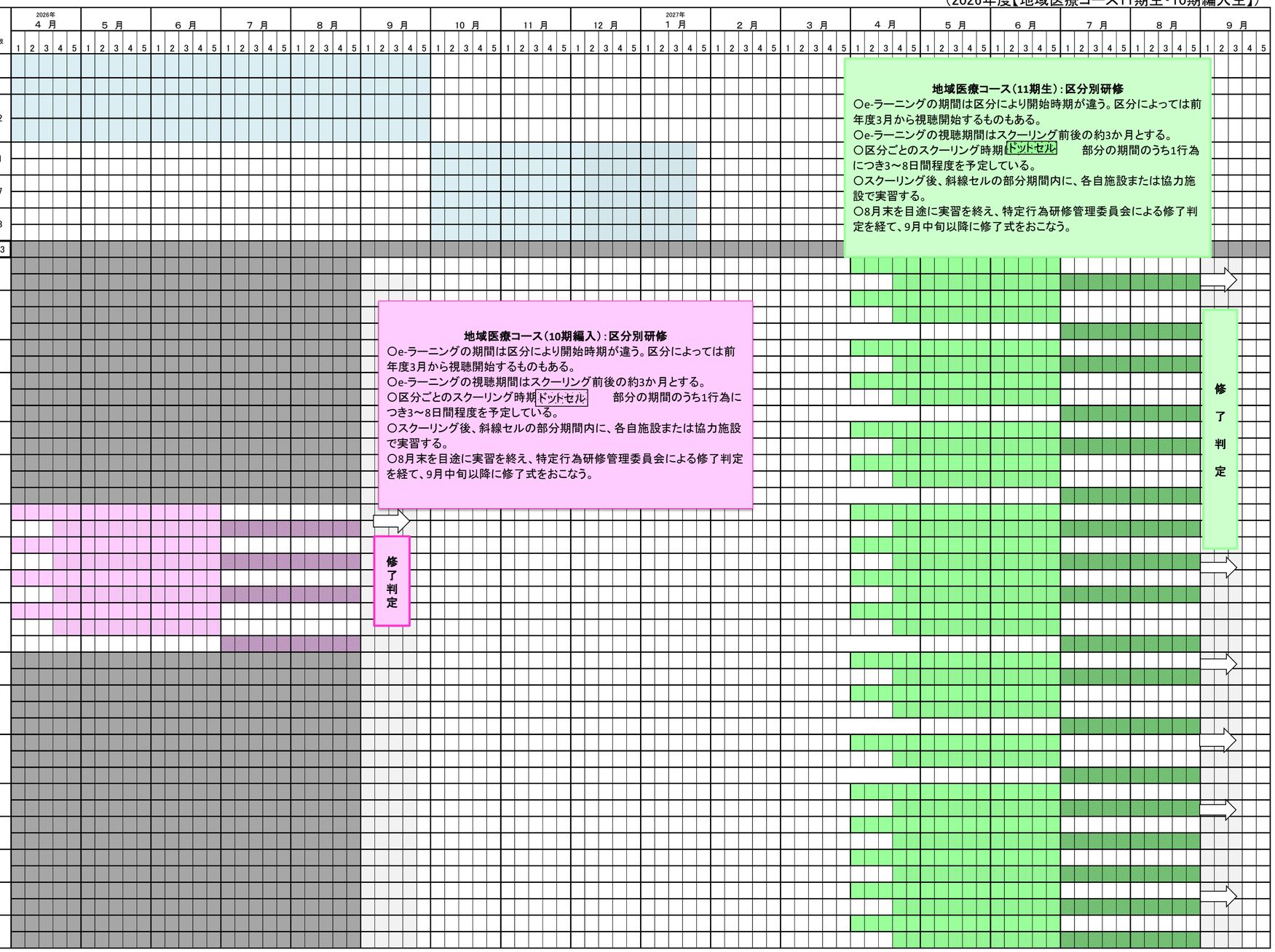
【和歌山県立医科大学】

学習進度計画表

青色セル：地域医療コース**11期生**共通科目【ドットセル部分→本学での演習・実習、それ以外は放送大学による講義・演習・テス緑色セル：地域医療コース**11期生**区分別研修【ドット部分→本学での演習、斜線部分→協力施設での実習、それ以外はe-ラーニングによる講義】
桃色セル：**10期編入生**区分別研修期間【ドット部分→本学での演習、斜線部分→協力施設での実習】

（2026年度【地域医療コース11期生・10期編入生】）

	科目名		放送大学の科目名	時間数合計
共通科目（eラーニングは放送大学で履修する）	臨床病態生理学		統合臨床病態生理学・疾病概論('19) 臨床病態生理学部分	31
	臨床薬理学		臨床薬理学特論('17)	45
	疾病・臨床病態概論		統合臨床病態生理学・疾病概論('19) 疾病・臨床病態概論(主要疾患の臨床診断・治療)部分	40.2
			統合臨床病態生理学・疾病概論('19) 疾病・臨床病態概論(状況に応じた臨床診断・治療)部分	
	臨床推論		臨床推論('16)	45.1
			特定行為共通科目統合演習('17)	
	フィジカルアセスメント		フィジカルアセスメント特論('16)	49.7
			特定行為共通科目統合演習('17)	
	医療安全・特定行為実践		統合医療安全学・特定行為実践特論('19)	48.3
			特定行為共通科目統合演習('17)	
	地域医療コース　共通科目時間数合計			259.3
区分別科目	呼吸器(気道確保)関連	共通事項	講義(学研e-ラーニング)・筆記試験	4
			実習	
		チューブの位置調整	講義(学研e-ラーニング)・筆記試験	5
			実技試験(OSCE)	
			実習	
	呼吸器(長期呼吸療法)関連	共通事項	講義(学研e-ラーニング)・筆記試験	4
			実習	
		気管カニューレ交換	講義(学研e-ラーニング)・筆記試験	4
			実技試験(OSCE)	
			実習	
	ろう孔管理関連(パッケージのみ)	共通事項	講義(学研e-ラーニング)・筆記試験	10
			実習	
		胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	講義(学研e-ラーニング)・筆記試験	6
			実技試験(OSCE)	
			実習	
	栄養カテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	共通事項	講義(学研e-ラーニング)・筆記試験	3
			実習(観察評価含む)	
		中心静脈カテーテル抜去	講義(学研e-ラーニング)・筆記試験	4
			実習(観察評価含む)	
	栄養カテーテル管理(末梢留置型中心静脈カテーテル管理)関連	共通事項	講義(学研e-ラーニング)・筆記試験	3
			実習	
		末梢静脈カテーテル挿入	講義(学研e-ラーニング)・筆記試験	5
			実技試験(OSCE)	
			実習	
	創傷管理関連	共通事項	講義(学研e-ラーニング)・筆記試験	12
			実習(観察評価含む)	
		褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	講義(学研e-ラーニング)・筆記試験	16
			実技試験(OSCE)	
			実習(観察評価含む)	
		創傷に対する陰圧閉鎖療法	講義(学研e-ラーニング)・筆記試験	8.5
			実技試験(OSCE)	
			実習(観察評価含む)	
	栄養・水分管理に係る薬剤投与関連	共通事項	講義(学研e-ラーニング)・筆記試験	6
			実習(観察評価含む)	
		高カロリー輸液投与量の調整	講義(学研e-ラーニング)・筆記試験	5
			演習・実習(観察評価含む)	
		脱水症状に対する輸液補正	講義(学研e-ラーニング)・筆記試験	5
			演習・実習(観察評価含む)	
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	共通事項	講義(学研e-ラーニング)・筆記試験	6
			実習(観察評価含む)	
		インスリン投与量の調整	講義(学研e-ラーニング)・筆記試験	10
			演習・実習(観察評価含む)	



地域医療コース（11期生）：区分別研修
○e-ラーニングの期間は区分により開始時期が違う。区分によっては前年度3月から視聴開始するものもある。
○e-ラーニングの視聴期間はスクーリング前後の約3か月とする。
○区分ごとのスクーリング時期ドットセル　　部分の期間のうち1行為につき3～8日間程度を予定している。
○スクーリング後、斜線セルの部分期間内に、各自施設または協力施設で実習する。
○8月末を目途に実習を終え、特定行為研修管理委員会による修了判定を経て、9月中旬以降に修了式をおこなう。

地域医療コース（10期編入）：区分別研修
○e-ラーニングの期間は区分により開始時期が違う。区分によっては前年度3月から視聴開始するものもある。
○e-ラーニングの視聴期間はスクーリング前後の約3か月とする。
○区分ごとのスクーリング時期ドットセル　　部分の期間のうち1行為につき3～8日間程度を予定している。
○スクーリング後、斜線セルの部分期間内に、各自施設または協力施設で実習する。
○8月末を目途に実習を終え、特定行為研修管理委員会による修了判定を経て、9月中旬以降に修了式をおこなう。